

2023年8月29日

お取引先様 各位

白銅株式会社

日本軽金属株式会社製品に関するご連絡

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年8月24日に日本軽金属株式会社（以下、日本軽金属）から、アルミ焼入厚板製品について不適切な事象が発見されたとの報告を受領しました。

この報告を受けまして、日本軽金属製品の弊社標準在庫品の取り扱いについて、下記の通り対応させていただきます。お客様にご迷惑とご心配をおかけします事、お詫び申し上げますとともに、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日本軽金属から報告を受けた不適合内容

生産工程における引張量がJIS規定（JIS H 0001）に対して不足していることが判明した。
質別 TX51 の規定引張量「1.5%以上 3%以下の永久ひずみを与える」に対して、実績が0.5%超え1.5%程度以下となる永久ひずみであった。

2. 対象となる日本軽金属製弊社標準在庫製品

ハイスペック 2017 切板（8～50 ヲリ）、17S 切板（55 ヲリ）
ハイスペック 6061 切板（8～50 ヲリ）、61S 切板（55～80 ヲリ）

3. 日本軽金属から報告を受けた製品品質に与える影響

製品品質に影響する具体的な問題は、現時点で確認されていない。尚、残留応力は永久ひずみを0.5%程度与えることでほぼ除去が可能であり、また化学成分値及び機械的性質のJIS規格値（JIS H 4000）を満たしているため、製品の品質には問題ないとの報告を受けております。

4. 弊社の対応

JIS規格の品質が保証されており、製品品質および安全性に問題ないと判断し、「適合規格品」として販売を継続いたします。

※適合規格品とは、「JIS規格認証取得品」とメーカーがJIS規格の品質を保証した商品「JIS規格メーカー保証品」の2種類があります。

5. JIS規格認証取得製品ご指定のご注文の対応について

JIS規格認証品が必要な場合：ご注文時に「JIS規格認証取得品」をご指定下さい。
但し、在庫なき場合はご容赦ください。

以上

2023年8月24日

白銅株式会社 御中

日本軽金属株式会社
板事業部



アルミニウム焼入れ厚板材質別表示 (TX51) について

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび弊社における JIS 再認証へ向けた確認活動の中で、首記の不適切事象が確認されましたので、下記の通りご報告させていただきます。貴社へ多大なご迷惑とご心配をお掛けすることとなり深くお詫び申し上げます。

貴社のご信頼を速やかに得るべく、誠意をもって対応して参りますので、引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

対象製品)

焼入厚板 質別 TX51 の製品

- ・ 6061-T651 6.5~100mmt 厚
- ・ 2017-T351 6.0~70mmt 厚
- ・ 2024-T351 6.5~50mmt 厚
- ・ 7075-T651 6.0~55mmt 厚

* JIS 範囲及び弊社生産実績を考慮。

対象期間)

1998年9月以降の製造出荷品

内容)

対象製品の生産工程における引張量が、JIS 規定に対し不足しているものがあることが判明致しました。

* 質別 TX51 の規定引張量 : 1.5~3.0% (JIS H4000 補完規格 JIS H0001 記載)

品質への影響及び今後について)

これまで納入させて頂きました対象製品については、貴社とお取り交わしさせて頂いている納入仕様書記載項目を全て満たしており、製造工程における引張量が JIS 規定外ではありますが、製品寸法・引張試験・化学成分他に関して JIS 規格値を満たしていることを保証致します。また現時点で当該事象起因による製品品質に関する問題は確認されておりません。

今後対象製品については製造条件の変更はせず、従来通りの製品をご提供させて頂く方針のため、JIS 再認証の対象から除外する方針で進める予定です。

何卒ご理解賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

以上

2023年8月24日

当社名古屋工場における追加の不適切事象について

日本軽金属株式会社

当社名古屋工場において、アルミ板製品に関する不適切事象が判明いたしましたのでお知らせいたします。

当社といたしましては、本件を重く受け止めるとともに、お客様をはじめステークホルダーの皆様にも多大なご迷惑をお掛けいたしますことを改めて深くお詫び申し上げます。

記

1. 不適切事象判明の経緯および内容

当社名古屋工場では、2021年5月14日付で一般財団法人日本品質保証機構より JIS 認証の取消しを受け、親会社の日本軽金属ホールディングス株式会社の指導のもと、JIS 認証再取得に向けた自主的な是正活動（JIS と製品仕様の整合性の確認、作業標準の整備など）に取り組んでおります。

今般、2023年3月10日に実施された日本軽金属ホールディングス株式会社製品安全・品質保証統括室による当社名古屋工場を対象とする品質監査で発見された事象を調査した結果、同工場が出荷した質別 TX51 の焼入れ厚板材について、以下の不適切事象が2023年4月7日に判明し、さらに同月12日、対象期間が1998年9月からであることが判明しました。

なお、2021年5月14日以降は、社内規格品として出荷しておりますが、以下の状況は継続しているため、2021年5月14日以降の出荷製品に関しても、不適切事象の対象製品と認識しております。

不適切事象

当該焼入れ厚板材は引張矯正によって「1.5%以上3%以下の永久ひずみを与えたもの」と JIS H 0001 および ASTM（*） B209 を補完する引用規格で規定されていますが、今般の調査の結果、実際の製品の中には、生産時の引張矯正量が1.5%に不足しているものがあることが判明しました。

（*）ASTM 規格

ASTM インターナショナル（ASTM International）が発行する国際規格

当社では不適切事象の判明後、関係団体等への確認、同様の事象の有無の調査、お客様へ

の説明などを進めておりましたが、最終ユーザー様が多数に上ることもあり、本件を公表することといたしました。

2. 不適切事象の対象明細

対象：焼入れ厚板材

質別：TX51

時期：1998年9月以降の出荷分（※）

材質・質別及び板厚範囲：

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ・6061-T651 6.5~100mm厚 | ・2017-T351 6.0~70mm厚 |
| ・2024-T351 6.5~50mm厚 | ・7075-T651 6.0~55mm厚 |

なお、質別 TX51 以外の焼入れ厚板材につきましては、JIS および ASTM 規格を満足していることを確認しております。

（※）2021年5月14日以降の出荷製品は、社内規格品として出荷しております。しかしながら、2021年5月14日以降の出荷製品に関しても不適切事象の対象製品と認識しており、後記3.の対応を実施しております。

3. 対応状況

お客様および関係先の皆様に対しては、ご連絡とご説明を開始しており、今後とも誠心誠意対応してまいります。

対象製品の安全性につきましては、自社検査や自社評価において、安全性に影響がなかったと考えておりますが、最終的にはお客様・最終ユーザー様にてご確認をお願いすることになります。なお、1998年9月以降の対象製品出荷時より安全性について問題が生じたことはございません。

以上

リリースに関するお問い合わせ：日本軽金属株式会社 広報室 TEL：03-6810-7160
製品に関するお問い合わせ：日本軽金属株式会社 板事業部 TEL：03-6810-7135